

夕映えに 何の水輪や 冬紅葉 (渡辺水巴)

11月はきのくに学び月間であり、本校ではさまざまな公開行事が開催されました。特に学校開放週間を中心に、外部から多くの来校者があり、本校から地域への教育の発信という役割を十分に果たせたと考えています。気がつけば朝夕はめっきり冷え込む季節となり、校庭のケヤキやカエデもすっかり色づき、樹々や草花たちも本格的に冬支度を始める頃となりました。

最先端科学に触れる～SSH和大講座

5日(月)和歌山大学から5人の先生をお招きして、本校環境科学科1年生及び中学3年生を対象としたSSH和大講座を開催しました。参加者は、科学全般、数学領域、物理領域、化学領域、情報領域の5つのうち希望の分科会を選び、4、5限の140分間、最先端科学の紹介に、熱心に耳を傾けていました。教育学部石塚互教授の講座では、DNAやナノテクノロジー等、生物学と物理学における近年の話題を紹介していただきました。また、立体的な元素の周期表を作る楽しい実習を通して、原子の性質についての理解を深めることができました。

公開授業等で賑わう～学校開放週間

5日(月)～11日(日)にかけては、学校開放週間と銘打ち、公開授業を始めとするさまざまな行事を行いました。5日(月)の放課後には図書館において、吉松校長を講師に迎え、文系の科学と題し、防災に力点を置いた文化講演会を催しました。他の日程では、6日(火)にPTA主催のホール試食会、7日(水)に3年生の人権講演会と図書館主催の紙芝居を用いた読み語り会、10日(土)に中学校の授業体験会をそれぞれ行いました。また期間中、記念館では環境科学科と中学校が、玄関から事務室前においては写真部、家庭部、美術部、書道部がそれぞれ展示を行いました。

本年度のきのくに学び月間における、外部からの来校者数は606名で、昨年度を大きく上回りました。

さまざまな講座に学ぶ～向陽大学ゼミナール

15日(木)4、5限に、1年生全員を対象として、向陽大学ゼミナールを開催しました。今年度は、7つの大学から9人の先生にお越しいただき、さまざまな分野にわたり、ご講義をいただきました。生徒は、9つの講座からそれぞれ2つを選択し、50分の講義を2コマ受講しました。近畿大学生理工学部、楠正暢准教授の講座では、極低温技術の紹介が行われました。バナナで釘が打てたり、ボールが弾まなくなる等、極低温のもたらす不思議な世界とその応用に、参加者は皆、魅きつけられていました。どの講座も参加態度はたいへんよく、今後のコース選択や進路選択に向け、たいへん参考になりました。

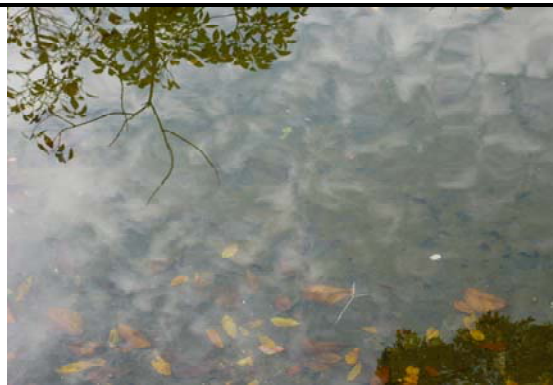
その他のトピックス

☆演劇部

23日～25日に大阪府で開催された近畿高校総合文化祭において最優秀賞を受賞した。本校は初受賞であるが、和歌山県としても過去42回の歴史の中で3回目である。

☆全国大会出場 演劇部、放送部、少林寺拳法部

☆近畿大会出場 囲碁部、合唱部、卓球部



★'07年12月の主な予定★

◎ 第4回定期考査

～5日(木)

◎ クラスマッチ

10日(月)～11日(火)

◎ 生徒総会

～14日(金)

◎ 三者懇談会

19日(水)～21日(金)

◎ アゼンブリー

21日(金)

◎ 冬季休業

25日(火)～1/4日(金)

◎ 土曜講座

8日(土) 15日(土)

